



# 禁煙ジャーナル

■発行人 一般社団法人 タバコ問題情報センター [代表理事・渡辺文学]

No. 340

〒102-0072 東京都千代田区飯田橋 2-1-4 九段セントラルビル 203

TEL: 03-3222-6781 FAX: 03-3222-6780

《郵便振替》00120-0-159803 【印刷】遠藤印刷 1部500円

## 全ての人々に健康的な生活を SDGsと日本禁煙学会の役割

～タバコ規制枠組条約の順守を～

2年ほど前から、「ESG」(環境・社会・企業統治)と「SDGs」(持続可能な開発目標)という言葉が盛んに聞かれるようになりました。特に最近では「SDGs」がメディアに頻繁に登場。中でも日本経済新聞は、「企業の社会的責任を考える」という観点でこのテーマを取り上げ、大手企業を中心にランク付けをしたり、取り組みの事例などを紹介しています。また、講演会やシンポジウムを開催するなど、支援体制を強化しているように見えます。しかし、この「ESG」や「SDGs」に最も反するのがタバコ企業そのものというのが世界の常識ですが、日本のメディアは決してこれに触れようとしていません。

JT(日本たばこ産業)はこの事実を横に置き、自らが取り組んでいるとPRしています。今回は、作田学理事長に「SDGsと日本禁煙学会の役割」について報告いただきました。(編集長・渡辺文学)

### タバコ規制は最重要課題

日本禁煙学会 理事長 作田 学

#### ■SDGs(持続可能な開発目標)とは何か



2015年9月25日に国連加盟国は、世界のすべての人々と地球を救うために2030年までにSDGsの目標実現を決定した。

SDGsには17の達成目標と、それに向けた169の目標があるが、その中でとりわけ重要なものは「目標3:あらゆる年齢

のすべての人々の健康的な生活を確保し、福祉を促進すること」である。

非感染性疾患は世界の死因の6割を占めるが低中所得国では死因の8割を占め、非感染性疾患が貧困の最大原因であり、最も対策の必要な分野となっている。非感染性疾患は、今後10年間で、世界全体で17%、アフリカで27%増えると予測されている。

依然として感染症の重圧に苦しんでいる低所得国にとって、非感染性疾患はその重圧をさらに強めるものとなっている。

#### ■非感染性疾患と戦うための武器FCTC

非感染性疾患の大きな原因となっているのは「タバコの使用」である。タバコの使用により年間800万人以上が死亡している。その死亡の少ない部分には、働き盛りの人々に起きている。20世紀中にタバコ使用で1億人が死亡した。

今のトレンドが続くなら、21世紀中には10億人が死亡すると予測されている。幸いなことにタバコエpidemickを減らし、悲惨な予測を実現させない手段をわれわれはすでに手に入れている。2005年2月に発効して、現在180か国以上が承認している国際条約、タバコ規制枠組条約(FCTC)がそれである。日本は2004年に署名し、締約国となっている。

WHOは、FCTCこそが非感染性疾患と戦うための最上の武器であると述べている。

2011年に当時のWHO事務局長マーガレット・チャン氏は、FCTCの完全実施が「心臓病、がん、糖尿病、慢性肺疾患を減らす最も威力のある対策だ」と言明している。このメッセージは国際社会の賛同を勝ち取った。FCTC完全実施がSDGsの項目に加えられた。

SDGs 3(ヘルスゴール)には「すべての年代の人々に健康な人生とウェルビーイングを保証する」とうたわれている。

—\* 1頁からの続き—

SDGs 3のターゲット3.4には「2030年までに予防と治療を通じて非感染性疾患による早死を3分の1減らし、メンタルヘルスとウェルビーイングの増進を図る」とうたわれている。

また、ターゲット3.aには「すべての国においてFCTCの完全実施の取り組みを強化する」と書かれている。

■増税でタバコ消費を減らす

FCTC第6条には、全般的な義務としてタバコの需要を減らすために価格と税を上げることが掲げられている。そして、すべての国は、税額を少なくとも小売りの値段の70%を超えることを目標とするべきであるとしている。

わが国でも、タバコ税増税によりタバコ対策費用を捻出する余裕が大きくある。我が国では少しずつ上げられているが、それでも燃焼式タバコで62%、加熱式タバコに至っては実に25~50%である。

重要なことは、タバコ増税がタバコ消費を低減させる極めて効果的な政策であることである。

ちなみに南アフリカでは、タバコ税率が1993年の32%から2009年に52%に引き上げられ、消費量が半減し、タバコ税収は9倍増加した。

■タバコ規制とSDGsの実現に向けて

タバコ規制プログラムを包摂的に推進することは、SDGs 3ゴール実現に寄与するだけにはとどまらない。タバコ産業と戦い、タバコ消費を減らすことは、他のゴール、とりわけ、すべての形態の貧困・飢餓をなくし、持続的農業発展、経済成長、気候変動対策推進にも寄与する。

■タバコは環境に対する脅威である

(2022年世界禁煙デー・スローガン)

また、喫煙可能年齢を引き上げるとか、妊婦禁煙とか、ニュージーランド、マレーシア、デンマークのように、喫煙禁止世代を国際的に制度化するなど有効である。

これらを実現するため、日本禁煙学会は次のような行動目標を決めた。

- (1) SDGs 3.aにタバコ規制が明示されていることを周知する。SDGs 3.aのみならず、タバコ製品の製造・消費行為が17の開発目標のほぼすべてと相容れないことを、あらゆる団体・個人に知らせる。特に政府・自治体・公共機関には繰り返し伝え、隠ぺいや消極的対応をあらためさせる。
- (2) 禁煙・防煙教育や講習・資格試験にはSDGs 3.aを含める。日本禁煙学会ならびに会員のあらゆる活動にSDGsを含めること。
- (3) 広報活動にはSDGs 3.aのロゴやホイールを表示する。日本禁煙学会がSDGsと共通の出

所・目的を持っていることを非言語的に受けとめられるようにする。SDGsマークの利用基準に注意する。

- (4) 「タバコ産業のSDGs推進事業」の欺瞞を周知する。ただし、SDGsは前向き、活動的な実践が尊ばれ、後ろ向きの議論や対立・批判を好まない傾向があることに注意する。

【さくた・まなぶ】

\* FCTC=Framework Convention on Tobacco Control (タバコ規制枠組条約)

\* SDGs=Sustainable Development Goals (持続可能な開発目標)

\* ESG=Environment, Social, Governance (この三つの観点から企業を分析して投資する「ESG投資」が注目されている)

《SDGs 解説》

Sustainable Development Goals

(持続可能な開発目標)

気候変動や社会の格差の問題などが深刻さを増す中、2015年の国連総会で2030年までに達成する世界共通の目標となった。17の目標とそれを具体化した169のターゲットがある。

経済、社会、環境のいずれもが、持続可能な形で成長していくことをめざし「誰ひとり取り残さない」を基本理念とする。

- ① 貧困をなくそう
- ② 飢餓をゼロに
- ③ すべての人に健康と福祉を
- ④ 質の高い教育をみんなに
- ⑤ ジェンダー平等を実現しよう
- ⑥ 安全な水とトイレを世界中に
- ⑦ エネルギーをみんなにそしてクリーンに
- ⑧ 働きがいも経済成長も
- ⑨ 産業と技術革新の基盤をつくろう
- ⑩ 人や国の不平等をなくそう
- ⑪ 住み続けられるまちづくりを
- ⑫ 作る責任 つかう責任
- ⑬ 気候変動に具体的な対策を
- ⑭ 海の豊かさを守ろう
- ⑮ 陸の豊かさも守ろう
- ⑯ 平和と公正をすべての人に
- ⑰ パートナーシップで目標を達成しよう

## 《タバコポイ捨て問題》 解決策は喫煙所を増やすこと？

サイエンスライター 石田 雅彦



路上や公園でタバコを吸うことによる受動喫煙被害や吸い殻のポイ捨てが問題視されている。

この問題に対し、従来から「喫煙所を増やせばいい」という意見も根強いが、果たして喫煙所を増やせばこの問題が解決する

のだろうか。

受動喫煙防止を主な目的にした改正健康増進法が2020年4月より全面施行された。原則的に屋内は禁煙となり、仮に屋外であっても施設管理者は受動喫煙の害が発生し、通行人などに被害が及ばないようにしなければならなくなった。

また、新型コロナの感染拡大防止のためもあって喫煙所が減らされた。その結果、タバコを吸う場所が大幅に減り、喫煙者が路上や公園などに集まり、近隣や通行人などにタバコ煙による健康被害を及ぼし、吸い殻をポイ捨てして社会問題になっているというわけだ。

### ■減ってきた喫煙できる場所

こうした中、喫煙する場所を確保する目的やタバコの吸い殻のポイ捨て、受動喫煙の防止などのため、公衆喫煙所を増設すべきという声も出てきている。

それでは、駅前などに公衆喫煙所を設置すれば、はたして喫煙者は路上喫煙をやめ、ポイ捨てがなくなり、受動喫煙の害を根絶することができるのだろうか。

実は、喫煙所を増やすことは、吸い殻のポイ捨て問題の抜本的な解決にはならない。

筆者も参加したインターネット・アンケートによれば、喫煙者の約3分の2が「喫煙したくても、喫煙所を利用したくないと思う」と回答した。

この調査は、Facebook「公衆喫煙所に関する意識調査プロジェクト」（プライベートグループ）による、人口密度の高い都府県（東京都、千葉県、神奈川県、埼玉県、愛知県、大阪府、兵庫県、福岡県）在住で20歳以上の男性2164人の喫煙者（20代：373人、30代：498人、40代：482人、50代：445人、60代以上：366人）を対象にした。

また同調査では、喫煙者の約4分の3が、喫煙所があっても路上で喫煙したことがあると回答した。さらに、路上喫煙に対し、過料などの罰金の徴収が効果的と回答した喫煙者は6割近くになっている。

つまり、喫煙者にとっても喫煙所の増設は、問題解決につながらないと感じているようだ。

### ■喫煙者を減らすことが抜本的解決法

周囲に人のいない場所で吸えばいいのに、なぜ喫煙者が目の前に喫煙所や灰皿がある路上、子どもが遊ぶ公園、タバコ煙が漏れ出るビル裏などでタバコを吸うのか、なぜ吸い殻をポイ捨てするのか、タバコを吸わない人にはよく理解できないかもしれない。

その理由は、ニコチンが切れると喫煙者はタバコを吸わずにはいられないからだ。過去に喫煙者であった筆者からみると、喫煙してはいけない場所でタバコを吸い、吸い殻をポイ捨てしてしまう喫煙者の行動は理解できる。

タバコ製品に含まれるニコチンには強い依存性があり、朝起きてから夜寝るまで一日中、一定時間おきにタバコを吸わずにはいられない。こうした生活習慣を何十年も続けるのが喫煙だ。そして、ついつい吸い殻をポイ捨てしてしまう。

タバコ会社はあちこちで喫煙所の設置を働きかけているが、タバコ会社にしてみれば喫煙者というロイヤリティの高い消費者を減らさないため、タバコを吸える場所をなるべく多く増やしたいのだろう。

### ■誰のためにもならない喫煙所

喫煙所を設置するのは、一見すると喫煙者のためでも非喫煙者のためでもあるように思える。

だが結局、上記のアンケート調査でわかったように、ニコチン依存から逃れられない喫煙者の健康のためでもなければ、受動喫煙の害を受けるタバコを吸わない人や社会のためにもならない。

日本では、喫煙により年間12万人から13万人が死亡していると推計される。これは全死亡者数の約1割にあたり、2021年の新型コロナによる死者数の10倍近くになる。

また、日本では毎年、受動喫煙関連で約1万5000人が死んでいるとされ、新型コロナを重症化させる心血管疾患、呼吸器系の疾患、糖尿病などは、受動喫煙でも発症することが知られている。

受動喫煙の害を減らし、タバコの吸い殻のポイ捨て問題を解決する抜本的な方法とは何だろう。

それは喫煙者を減らし、喫煙率を下げっていくことだと思う。

コンビニエンスストアに陳列せず、店頭のタバコ広告をなくし、依存物質であるタバコ製品が目につかないようにしなければならない。タバコへの課税を強め、禁煙したい喫煙者をしっかりサポートすれば、やがて喫煙者が減り、こうした社会問題もなくなっていくだろう。

【いしだ・まさひこ=横浜市立大学医学部大学院環  
循環制御医学教室/yahooニュース 22.4.9より】

## 新型コロナのはなし①⑥

日本禁煙学会理事 松崎 道幸

ウクライナは、麻疹が世界最悪の感染レベル、HIV・ポリオも世界の中では数少ない流行地の国となっています。結核も欧州地域で最も流行しています。

ちなみに日本は結核が黄色信号ですが、麻疹・HIVとポリオは「青信号」です。ロシアの侵略を受けたウクライナがこれらの疾患すべての最悪の流行国になる恐れがあります。戦争はすべての市民に防げたはずの感染症の病苦をもたらします。

3月15日にNatureに掲載された論説「ウクライナにおける戦争がHIV、結核、新型コロナを増やす恐れ」を紹介します。

### ■ロシアの侵攻で感染症増加

ウクライナの各地では、砲撃や爆撃から身を守るために市民は地下鉄、防空壕、地下室に密に身を寄せ合っており、新型コロナ感染のおそれが高まっている。

また、清浄な飲料水の不足と衛生状態悪化で、消化器系感染症の危険もある。ポリオと麻疹の流行も懸念される。道路が破壊され、瓦礫でふさがれ、医療機関へのアクセスが困難となり、結核やHIVの通院治療に大きな支障が出ている。

### 〈新型コロナ〉

ロシアは2月24日にウクライナに侵攻したが、ウクライナはオミクロン株の大波に呑まれている時期だった。PCR検査ができなくなり、感染状況がわからなくなったとWHOのテドロス事務局長はメディア発表で述べた。新型コロナワクチン接種率はキエフで65%だが、その他の州では20%台のところもあるという。

ちなみにイギリスでは73%が接種済みである。ウクライナではワクチン接種そのものへの拒否感が強いため、麻疹やポリオなどのワクチン接種も低率である。

### 〈ポリオ〉

ウクライナ西部では昨年、ワクチン接種後のポリオ患者が2例発生しており、その対策に取り組んできた。19名の濃厚接触者からポリオウイルスが検出されている。(ポリオウイルス感染後麻痺が発生する確率は200分の1とされているが、実際の発症数は予想よりずっと多かった)。

ロシア侵攻により2月1日から開始された14万人の小児に対するポリオワクチン接種キャンペーンが中断された。

### 〈麻疹〉

ウクライナでは2017年に大きなアウトブレイクが発生し、2020年まで続いた。感染患者は11万5千人に上った。2020年までに麻疹ワクチン2回接

種完了率は82%となったが、アウトブレイクを完全に抑えるうえでは不十分である。

さらに懸念されるのは、接種率が50%以下の州も見られることである。その地域から多くの人々が州外に避難をしている。

### 〈結核〉

ウクライナは世界で最も多剤耐性結核患者の多い国の一つである。毎年3万2000人が新規発症し、3分の1は薬剤耐性菌による。結核感染者の22%はHIVに感染している。HIV感染者の最大の死因が結核である。貧困と狭い住宅により、呼吸器感染症の重症化が増える。

専門家は「治療を中断すると、多剤耐性結核菌が増えるのは必定だ。5年間治療をしないと、結核患者の半数は死亡する。しかし死亡するまでに多くの人々に二次感染をもたらす。多剤耐性結核菌感染者の治療を中断すると、もう、有効な薬30%減った。したがって結核はもっと流行するだろう」と語った。

### 〈HIV〉

東ヨーロッパ諸国で2番目に感染率の高いウクライナでは、HIV治療も危機に瀕している。HIV感染率は人口の1%だが、男性同性愛者では7.5%、注射用ドラッグ使用者では21%である。

抗レトロウイルス治療により、HIVを押さえ、結核などの日和見感染と母子感染を防ぐことができる。適切に抗レトロウイルス治療が継続できたなら、ウイルス量を減らして二次感染を防ぐことができる。

### ■地域全体の危機

ウクライナでは2020年末現在26万人がHIV感染者となっている。このうち69%は自分の病状を認識し、57%が抗レトロウイルス治療を受け、53%が寛解状態となっていた。UNAIDSはこれらの数字を95%まで上げることを目指していた。

All Ukrainian Network of People Living with HIV/AIDSのValeriia Rachynska氏は次のように語った。「戦争のためにウクライナのHIV治療は10年後退するだろう。無差別砲撃のために、薬剤を入手できなくなる。もし医療施設に行くことができても、そこに薬がストックされていなければならない。1か月分あるいは2週間分の薬を入手できる安全な場所にいる人々は良いが、ロシア軍の占領地域となった場合、あるいは攻撃のやまない地区にいる人々は薬を入手できなくなる」

【まつざき・みちゆき】



## 『ドライブ・マイ・カー』の 喫煙シーンに喝！

タクシードライバー 大島 英樹

日本映画『ドライブ・マイ・カー』がアカデミー賞を受賞し、メディアで大きく取り上げられています。しかしこの映画は、沢山の喫煙シーンが流れています。いくら、サンルーフやウィンドウを開けたとしても、とても気持ちが悪くなる嫌なシーンが多く、呆れるばかりです。

以前私は、神奈川県タクシードライバー会社に勤務していた際、タクシー内で強烈な受動喫煙被害を受けました。この件で、横浜地裁に訴訟を起こし、最高裁の判決まで長期間にわたり、受動喫煙防止の意見書提出などで沢山の支援を頂きました。

裁判ではこの訴えが棄却されましたが、多くの医師と弁護士の皆さんや、応援して下さった禁煙運動関係者の皆様のお陰で、今現在、ほぼタクシー・ハイヤー内では、タバコが吸えなくなっています。それでも、隠れて吸っているタクシードライバーや、最近では加熱式タバコなどで、煙が出ないと甘くみて、平気で吸う客もいます。

喫煙シーンの多い映画は、WHOの「タバコ規制枠組条約」(FCTC)のガイドラインに違反していると思います。

自動車内、喫煙者同士の同乗でも、喫煙は車内環境汚染の原因だと強く訴えたいのです。

【おおはた・ひでき/元神奈中ハイヤー・タクシードライバー】

## 『ドライブ・マイ・カー』を観て —3時間のタバコCM映画?—

医師 望月友美子

「アカデミー賞候補」ということで、受賞前の3月26日、『ドライブ・マイ・カー』を観てきました。ここまで全編タバコにまみれた映画は、最近では珍しいというほどの喫煙シーンが繰り返されます。

WOWOWのMOZUでもチェンスモーキング(死語かと思いきや)をしていた主演俳優氏が、またも紙巻タバコが真の主演ではないかというほど、あらゆるシーンで吸っています。

作中、同業の奥さんは彼の留守中にクモ膜下出血で亡くなってしまおうのですが、朗読劇のような使われ方で映像を覆う彼女のスモーキーボイスももう一つの主演です。

映画レビューでは「吸いたくなかった」という感想が多く寄せられていました。

また、愛車の中では禁煙ルールだった主人公は、大きくストーリー転換してから、その禁を犯して準主演のドライバーの女の子と「いい感じ」に吸うのですが、これぞ正に喫煙の正当化(ノーマライゼーション)です。

タバコ産業のお金がどのように流れているかわかりませんが、「3時間のタバコCM映画」がアカデミー賞を獲ったようなものだと思います。

【もちづき・ゆみこ=元WHOタバコ規制部長/日本禁煙学会理事】

## 佐賀県庁に喫煙所求める県議会請願

～県医師会が反対の要望書提出～

佐賀県議会が全会一致で採択した県庁敷地内に喫煙所の設置を求める請願に関し、県医師会は15日、設置に反対する要望書を山口祥義知事宛てに提出した。「県政のかねめである県庁で喫煙所を再設置することは喫煙しても良いという誤ったメッセージになりかねない」としている。

請願は県たばこ販売協同組合などが提出した。県庁敷地内が2019年から全面禁煙になったことを巡り、近隣のコンビニの喫煙スペースなどに愛煙家の県職員らが集中し、かえって受動喫煙を誘発しているとして県に喫煙所の再設置を求めた。

県議会は3月の定例会で全会一致で採択した。

請願を受けた県は「誠実な対応」を求められるが、必ず請願の通りにする必要はない。

県医師会は「たばこが周囲の人にも重大な健康障害をもたらすのは常識。新型コロナウイルスの重症化リスクの一つになっている」と指摘。佐賀県の喫煙率は全国ワースト4位の21.2%、男性喫煙率は35.8%でワースト1位であるとする厚生労働省の調査を紹介している。

県内の医療関係者が小中学生向けに防煙教育に取り組み、140の医療機関で禁煙治療に当たる中であって「県庁には敷地内禁煙を継続し、職員の禁煙、卒煙を推進して市町行政機関や公共機関の手本となることを切に希望する」と訴えている。

【佐賀新聞(栗林賢記者)/2022.4.16】

### World No Tobacco Day記念イベント

〈オンライン開催〉

2022年5月29日(日) 14:00 ~ 16:00

「FCTCを無視したタバコ産業の活動」

講師：石田雅彦/来馬明規/岡本光樹

「袋井市市民を守る条例」に関して

講師：鈴木立朗(袋井市健康づくり課課長)

主催：タバコ問題首都圏協議会(MASH)

共催：日本禁煙学会/全国禁煙推進協議会

## 未成年者への生涯タバコ販売禁止を！

無煙ニュース発信人 土森 武友

タバコを無くしていくにはどうしたらいいか。最終的には「たばこ事業法」の所管官庁を、今の財務省から厚労省に移していくことが目標になるかと思いますが、財務官僚、たばこ産業、族議員の反対で非常に困難な作業になると思います。

昨年暮れから今年にかけて、ニュージーランドやデンマークで一定年齢以下の未成年にタバコ販売を生涯にわたって禁止する動きが出ています。

このような規制を日本で取り入れるのはどうでしょうか。

この仕組みが導入されたとしても、しばらくはタバコの売り上げが落ちたり、喫煙者が減ったりはしないと思いますが、数十年単位で見ると確実に喫煙者を減らす効果が見込めます。

すぐにはタバコの売り上げが落ちる訳ではないし「未成年をタバコの害から守る」という大義の前には、先ほどの財務省などの「抵抗勢力」の反対もそんなに強くはならないと思いますが、いかがでしょうか？

【つちもり・たけとも】

### ＜ニュージーランド＞

## 紙たばこ非合法化へ

～14歳以下は一生吸えず？～

【シドニー共同】 ニュージーランド政府は9日、14歳以下の少年少女が、生涯にわたって紙巻きタバコを購入するのを禁止する法案を来年提出することを明らかにした。電子たばこの使用は容認する可能性がある。2022年12月の成立を目指す。

年数をかけ「タバコのない国」を目指すのが、開市場が生まれるとの批判も出ている。

アーダン首相は記者団に対し「たばこの価格をこのまま上げ続けても、もはや禁煙を促す効果はない」と主張。「人々が最初から喫煙を始めないようにすることに集中する」と話した。

法案は、低ニコチン以外のたばこの販売を禁止。禁煙に向けた取り組みを行政が支援する。

【yahoo ニュース/2021. 12. 9】

### ＜デンマーク＞

## 2010年以降誕生の人の喫煙禁止検討中

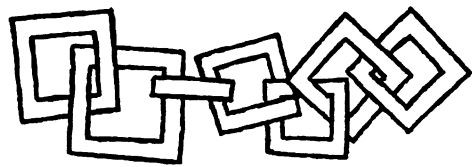
デンマークが、2010年以降に誕生した人々へのタバコ販売禁止を検討している。マグヌス・ホイニケ保健大臣は、次世代の喫煙防止を計画しているとして、こう話す。

「我々の願いは2010年以降に生まれた全ての人々が喫煙を始めない、ニコチンベースのものを使用しないということです」

「必要となれば、購入可能な年齢を徐々に上げていき、この世代への販売を禁止する準備もあります」 現在デンマークの法律では、18歳以下のタバコ、電子タバコの購入が禁止されているものの、15歳から29歳までの国民の31%が喫煙者だという。

ホイニケ保健大臣は、喫煙は国内でのガンの主な原因であり、毎年1万3000人が亡くなっていることを危惧、今年2008年以降に誕生した人々のタバコ購入を違法化するニュージーランドに続く姿勢を見せている。

【yahoo ニュース/2022. 3. 20】



# 無駄の物語

定価 1,100円 (税込)

田中 潤 / 著  
(税理士)

公益社団法人 受動喫煙撲滅機構 理事長  
一般社団法人 東日本大震災雇用・教育・健康支援機構 理事長

なぜ行列を作ってエスカレーターに乗るのか、なぜ挨拶をするのか、そして、なぜ渡辺文学氏は吸殻を拾い続けるのか。これからの時代の生き方として何が大切なのか、「無駄」をキーワードに78の具体例を挙げて考えた書。本書を読んで大いに「無駄」なことをしましょう。

発行：歴史探訪社 <https://rekishitanbou.com>

## ＜メディア・ウォッチング＞

■3/25『日刊ゲンダイ』〔岡崎朋美のすべらない話〕「恩師がロシア&ベラルーシと深めた『たばこ外交』」。①ロシアに国際大会で足を運んだ経験がある②ベラルーシの選手や監督が長田照正監督に対し、喫煙所に行こうと誘われる姿をよく目撃した③リンク内は禁煙だったが、リンクサイドにある製氷車の車庫には灰皿が置かれ、愛煙家のたまり場に④選手が練習を終えると、監督やスタッフは一目散に喫煙所へ⑤ロシア、ベラルーシ、カザフスタンなど各国のスタッフ……その中に決まって長田監督がいた⑥各国のスタッフらは「オ～、オサダ！」と声をかけては、指でたばこをふかすジェスチャーをして長田監督にたばこをせがんでいた⑦たばこがきっかけだったとはいえ、スポーツで深まったロシアやベラルーシとの交流。ただ、政治を抜きにして、現地で親交を深めてきたアスリートやスタッフがいることを忘れないでほしい、といった内容。トモミサ～ン！1996年の世界禁煙デーのスローガンは「スポーツと芸術をたばこの煙のない環境で」であったことを忘れないでほしい（笑）■3/29『日刊ゲンダイ』「受動喫煙防止のため『屋外分煙施設整備』を決議した香芝市議会」。健康増進法の例外規定「屋外で受動喫煙を防止するために必要な措置がとられた場所に、喫煙場所を設置することができる」をタテに奈良県香芝市で「健康増進法の適正な運用とさらなる増進を求める決議」が可決された、という内容。鼻薬をかがされた議員が多数派だったのか（笑）■4/6『朝日』「息切れ『年のせい？』肺病かも」「『COPD』たばこが原因、20年以上かけ発症」。①COPD罹患者が①受診する契機②治療内容③医師の勧めで禁煙したこと②COPDの診断基準③COPDによる死者は2020年度で16,125人④「COPDを知っている」は2021年度で約3割④推定患者数（530万人）は増加している可能性が高い⑤2017年の厚労省調査では推定患者の4%のみが治療といった内容■4/8『東京』（投書＝小学生11歳）「たばこなぜ吸うの？」。①学校に行く途中にたばこ屋があり、毎日息を止めて通る②そこで喫煙する人がいて、煙でとても臭いから③なぜ吸うのか。自分がお菓子を食べるのと同じように幸せを感じているのではないか④自分が思う大切な人には吸ってほしくない、といった内容。小学生としてはこんな感覚で十分でしょう（笑）■4/8『下野新聞』（投書/森島真氏）「極力減らしたい映画の喫煙場面」。①米アカデミー賞を受賞した「ドライブ・マイ・カー」の喫煙シーンの多さが気になった②喫煙者や喫煙経験のない若者は吸いたくなり、受動喫煙被害に悩む人はこの上なく不快な描写③たばこによる健康被害は世界的な問題。欧米を中心に喫煙シーン

を極力減らすのが常識④たばここと無縁の、素晴らしい無煙の映画が増えることを期待したい、といった内容。「無縁...無煙」は素晴らしい表現ですね（笑）■4/9『東京』（投書）「『ご主人』と声かけを」。①ファミレスの席で大声で電話する男性やコンビニ前でたばこを吸う人の存在にイライラする②どうしたら無難に注意できるか？第一声が大事と思い「ご主人、席で電話はちょっと...」「ご主人、ここでたばこは...」と呼びかけてみた③反射的に席を立ったり、恐縮して何度も頭を下げる人がいた。といった内容。行為者が女性だったりしたら、どう声掛けするのかな（笑）■4/9・16『週刊ダイヤモンド』「JTが直面するロシアのジレンマ」「利益の2割を稼ぎ、国家予算の1.4%を納税」。①ロシアによるウクライナ侵攻で、ロシア事業から撤退を表明する企業が相次ぐ中、JTは態度を決めかねている②ロシア事業は「進むも地獄退くも地獄」③JTグループがロシアに収めている税金は国家予算総収入の1.4%にあたり、ロシアの“軍資金”になっているとの批判が今後出かねない④撤退すれば利益の2割が吹き飛び、減配すれば個人投資家からの人気低迷に拍車がかかりそう⑤減配は日本の政府系金融機関にも影響を与える可能性がある⑥戦況や各国の経済制裁などを鑑みれば、ロシア事業の停止の可能性は十分ある、といった内容■4/20『東京』「増える高齢者の心不全」「長年の酷使が原因に」。東京大大学院・原田陸生准教授に取材。①健康寿命が大切①要介護の原因の5分の1が心臓と脳の血管障害②日本人の死因首位だった脳卒中は着実に減っている。血圧管理の意識が浸透し喫煙率も減った成果だ③心不全が増える理由は「がんと同様、65歳以降に出ることが多い。長年の酷使で心臓がバテることが、平均寿命が延びたことで表面化した」②近年、高齢者では心臓の筋肉が硬くなるための「拡張不全」によるものが多いと分かってきた。息切れなどがあっても「年のせい」と考えて、重症になってしまう例も多い③日本循環器学会と日本心不全学会は①A⇒高血圧や糖尿病の危険因子はあるが、まだ心臓に異常はない状態②B⇒虚血性心疾患などの心疾患が起きた段階③C⇒心不全を発症している④D⇒治療に反応しにくくなった末期状態④高齢者の心不全が治るのは難しい。ただ、意識と行動で、次の段階に進まないよう予防はできる⑤生活習慣病にならないよう「食事の見直しと適度な運動習慣、睡眠の確保が重要。禁煙して酒はほどほどに」⑤中程度の運動なら週に150分、競泳やジョギングなどの強い運動なら週に75分で十分⑥人口が減っても、心不全患者は2040年まで増え続ける。健康なうちから、心臓への負荷を減らし、いたわることが重要、といった内容。【水飽健一郎】

展望台

風薫る5月である。2017年の今頃、私は新聞の小さな広告を目にした。『禁煙は愛〜あなたのため、そばにいる人のため』。広告主は日本医師会。「受動喫煙防止対策を強化、実現するため、署名活動を行っています。ぜひご協力ください」とあった◆当時私は『無私の日本人』磯田道史著を読んでいた。この本に収められている「穀田屋十三郎」は仙台藩・吉岡の町民達の記録『国恩記』を元にした小説で、『殿、利息でござる!』のタイトルで映画化された。私は前年5月の公開時に観ていたので、原作に興味を持ち、読んでいたところだった◆映画にはフィギュアスケートの羽生結弦選手も出演していた。羽生選手は幼い頃から喘息の持病があったが、練習を重ね、オリンピック金メダリストとなった。今も時々発作を起こしながらも世界中を魅了する演技を続けている。私は、銀盤のプリンスが、銀幕で7代藩主・伊達重村に扮し「春風」の酒銘を翳していたシーンを思い出した。そして、人の役に立ちたい気分が高まった私は、重村の持つ「春風」に背中を押され、署名活動に参加することにした◆路上に立つのは恥ずかしいので、友人等、署名してくれそうな人に頼みに行った。が、すんなり書いてくれる人ばかりではなかった。一度断られて怖気づいたが、協力してくれそうな人を紹介してもらい、あまり話したことがない人にも頼みに行った。その中に、重い話をしてくださった人がいた。お孫さんが呼吸器の病気で、発作が起きると病院からレンタルしている機械で症状を沈めているという。「子どもがこういう状態なのにタバコをやめようしないのは、愛情が足りないからだ」と怒っていた。その頃の私は今よりタバコの知識が乏しく、

かけるべき言葉を探せなかったが、お爺さんの怒りは（そもそもどうしてこんなモノが売られているのだろう）という素朴な疑問となって、私の中に沈殿した◆署名は264万筆を越えたそうだ。わずかだが私が集めた署名もそこにある。私も少しだけ人の役に立てたろうか◆まもなく世界禁煙デー。毎年5月31日にはWHOが薫風を吹く。今年のテーマは「環境への脅威」だ。栽培から生産、流通、過剰な消費に至るまで、タバコが環境に与える影響について、人々の意識を高めることを目的としているテーマ。喫煙者に禁煙するための新たな理由を与えようとしているのだ。これに合わせて日本でも様々なイベントが行われる。厚生労働省は禁煙週間を設け、禁煙と受動喫煙防止の普及啓発をいつも以上に行うし、各自治体も地域における喫煙対策の推進を図る。数々の禁煙推進団体なども活気ある活動を企画していることだろう。私も、無私の日本人の一人として、1本のタバコの火を消す小さな風を起こしたい。

【斉藤由美】



無煙賛歌

アカデミー日本映画が選ばれた  
喫煙シーン多いのになぜ  
東京都受動喫煙アンケート  
路上が最多61%も

広告で日本医師会訴えた  
新型タバコも吸ってはダメよ

その咳は年のせいではありません  
禁煙すればかなり改善

ロシアでのタバコ生産続けます  
恥を知らないJ-Tに喝

富美里

【雑記帳】健康体力づくり事業財団が発行している『健康づくり』という月刊雑誌があります。この雑誌に「My Sports Life」と題する連載記事があり本年4月号では181回を数えています。4月13日、同誌のライター中原紫恵さんからこのコーナーのインタビューを受けました。私は、中学生時代から大学までと、社会人になってからの合計約40数年間「野球」を楽しんできましたが、これを中心に、最近の「新型モク拾い」まで、身体を動かしてきた経験などを1時間半ほど話しました。7月号に掲載されるとのこと。楽しみです◆「アカデミー賞」に日本の映画『ドライブ・マイ・カー』が「国際長編映画賞」を受賞しました。テレビの予告編では、主演の西島秀俊と女性ドライバーの喫煙シーンが盛んに流されており、土浦の殿岡哲雄氏からは「このCMで観る気が無くなった」というメールも◆タクシードライバー大島英樹氏は、受賞のニュースが入る前に小生の事務所を訪ね、この映画のモクモクぶりに厳しい批判を。また、望月友美子氏からは「タバコCM映画がアカデミー賞」とタバコ会社の関与を疑

う映画評が寄せられました◆「新型モク拾い」が4月25日に1036日となり、総本数は61,215本に。世田谷区の保坂展人区長は「脱原発」には意欲を見せていますが、SDGsの観点からもぜひ「脱タバコ」にも力を入れて欲しいと願っています。(文)